

報告

第2回「宇宙（天文）を学べる大学” 合同進学説明会」“超”速報

福江 純（大阪教育大学）

1. 広がる動き

昨年に岡山と大阪で開催された“宇宙（天文）を学べる大学”合同進学説明会は[1]、今年（2009年）は熊本と仙台でも開催され、各地に広がりを見せている。そんな中、大阪で開催した第2回の説明会（2009年6月14日、大阪市立科学館）は、総括的には、質はアップしたものの、量はダウンした。その反省を踏まえ、来年の参考にするため、当初ポスター参加だけの予定だった東北地区の説明会（2009年6月28日、仙台市天文台）にも、急遽、参加して昨日戻ってきた。詳しい報告は日本天文学会の『天文月報』誌で行う予定だが[2]、帰京翌日のレポートとして『天文教育』誌にも速報を書いておきたい。

2. “超”概要

大阪では“超”司会者として一つの会場の進行を行い、仙台では関西から直接に参加した唯一の“超”代表として大阪教育大学の紹介をしてきた（このネタは東北の方がウケタ）。まず両方の現場をみた上での“超”概要を書いておく。

大阪（図1）

参加大学数：16大学＋1大学（ポスター参加）
参加学生数：20人強

仙台（図2）

参加大学数：9大学＋5大学（ポスター参加）
参加学生数：約40人

合同進学説明会は、ある種の“お見合いパーティー”みたいなもんだから、巡り会いの数は、参加大学の数と参加高校生の数の積に比例して効率がよくなる。



図1 大阪のブース会場



図2 仙台的ランチタイム

その点から、大阪では、参加大学数は妥当な数だったが、参加高校生数が少なかった。50人ぐらいは参加して欲しかったところである。多方面への周知とともに、高校現場へのもう少し積極的な働きかけが必要だったと思われる。

一方、仙台では、開催場所が地の利の悪い場所であったにもかかわらず、参加高校生の数が多かった。高校の先生たちが直前に働きかけたのがよく効いたと思われる。

3. 対面が重要

昨年のアンケートや今年のアンケートの結果からみて、このような進学説明会で高校生が知りたいのは、大学の教育内容よりはむしろ研究内容の方である。入試の方法などはホームページをみればわかるし、開講科目なども調べがつくが、それぞれの研究室でどういう研究をしているかは、案外とわかりにくい。大学側としては、入試の方法や開講科目などはざっと紹介するだけにして、自分たちがやっている研究がどれだけ面白いかを熱演するのがいいと思われる。

またブースやポスターなどで、直接に、大学の先生の話を知りたい希望も強い。大阪などでも感じたのだが、たんにポスターが貼ってあるだけだと、やはりつまらないようだ。そういう印象もあって、仙台まで走ることにしたのだが、実際、仙台でも、ポスターの前で説明を聞いている生徒が多かった。できるだけ対面で実施するのが重要だろうと思う。

4. 来年へ向けて

大阪で実施した第2回目の説明会は、全般的に評価して、質的には大変に向上して面白いものだったと思う。実際、参加者のアンケートを眺めても、満足度はかなり高い感じだった。

しかしまた、スタッフ数より参加者数が少ないイベントは失敗であり、その点では、今回は(前回も)イベントとしては失敗である。次回はこれを踏まえて、計画を立てていきたいところだ。

最初にも書いたように、大学側と高校生側が上手い具合に出会うためには、両方ともそこそこの参加数が必要である。また、高校生の希望を慮れば、地域限定にはせずに、大学側もできるだけ全国各地から集まってもらう方がはるかにいい。

去年と今年の開催状況をみると、参加大学

数が少ないと情報量が減って有効価値が下がり、参加大学数が20を超えると発表時間の配分が困難になるだろう。また、参加学生数が10程度ではさすがにコストパフォーマンスが悪いし、大学側のモチベーションも下がるが、70や80を越えると会場設営や対面の相談が難しくなりそうだ。

それやこれやを考えると、実施上の適正規模としては、

参加大学数：15 大学程度

参加学生数：50 人かもう少し

ぐらいが適当ではないかと思う。

ともあれ、去年と今年と、参加した高校生たちに直接インタビューして聞いた感触では、参加した高校生たちには非常に有用な情報になっている。そういう声を聞けるだけでも開催する価値はあるが、できれば、より多くの大学や生徒に参加して欲しいものだ。

また、全国各地での開催も検討して欲しいところである。実際、仙台の説明会では、関東からの参加大学を目当てに宇都宮からはるばる車で訪問した親子もいた。そろそろ関東地区での開催も期待したい。

文 献

- [1] 福江 純他 (2009) 天文月報, 102 : 48.
- [2] 福江 純他 (2009) 天文月報, 投稿予定

福江 純